

「2024年(令和6年)のスタートです」

2024年(令和6年)がスタートしました。年末年始には、戦争・紛争、自然災害、事故が世界や日本で続きました。亡くなられた方や災害や事故に遭われた方の心に寄り添うとともに、学校教育ができることを考え、取り組んでいきたいと思ひます。

さて、昨年6月に国の新たな教育振興基本計画が閣議決定されました。計画の策定に当たっては、教育基本法を普遍的な使命としつつ、新たな時代の要請を取り入れたものとなっています。本計画のコンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイング(幸せ)の向上」が掲げられています。

また、計画の前文には、「教育こそが社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展に向けて極めて重要な役割を有している。」と記されています。教職員一同、そして、これからの時代を担う子供たちとともに、「持続可能」及び「ウェルビーイング(幸せ)」をキーワードとして、変化を恐れずに邁進したいと思ひます。

そこで、桃五小に「しあわせ」を引き寄せる習慣として、

しあわせの「し」は、しせいの「し」

しあわせの「あ」は、あいさつの「あ」、ありがとうの「あ」

しあわせの「わ」は、わらいの「わ」

しあわせの「せ」は、せいとん「せ」

を考えました。この5つの習慣によって、みんなで桃五小に「しあわせ」を引き寄せていきたいと思ひます。

令和6年1月4日

杉並区立桃井第五小学校
校長 佐野 篤